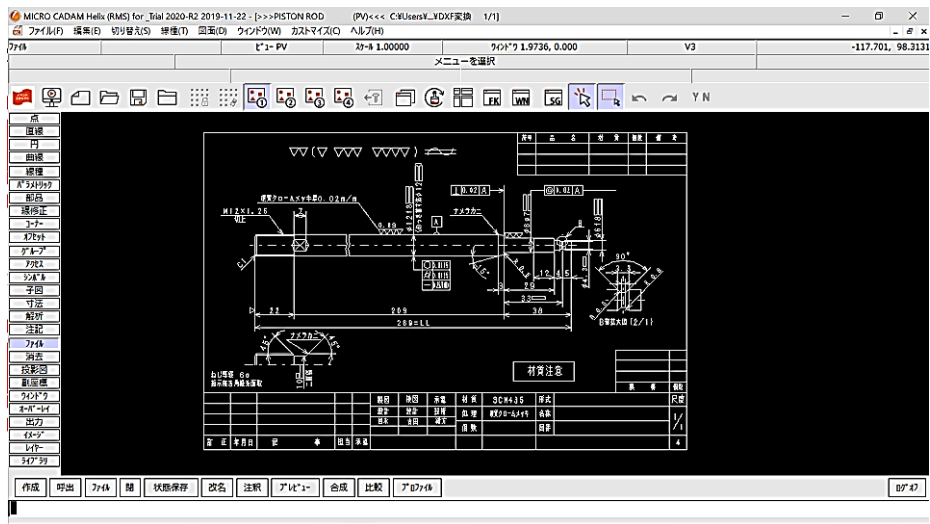


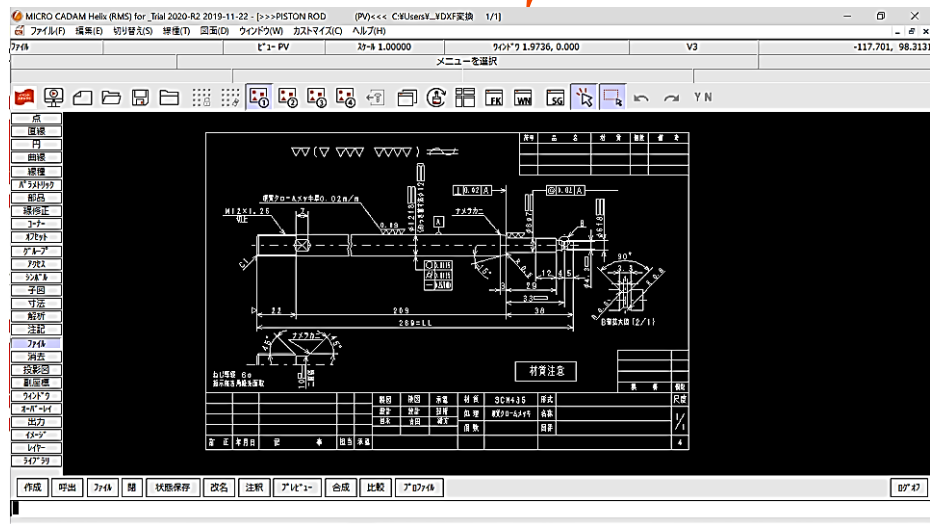
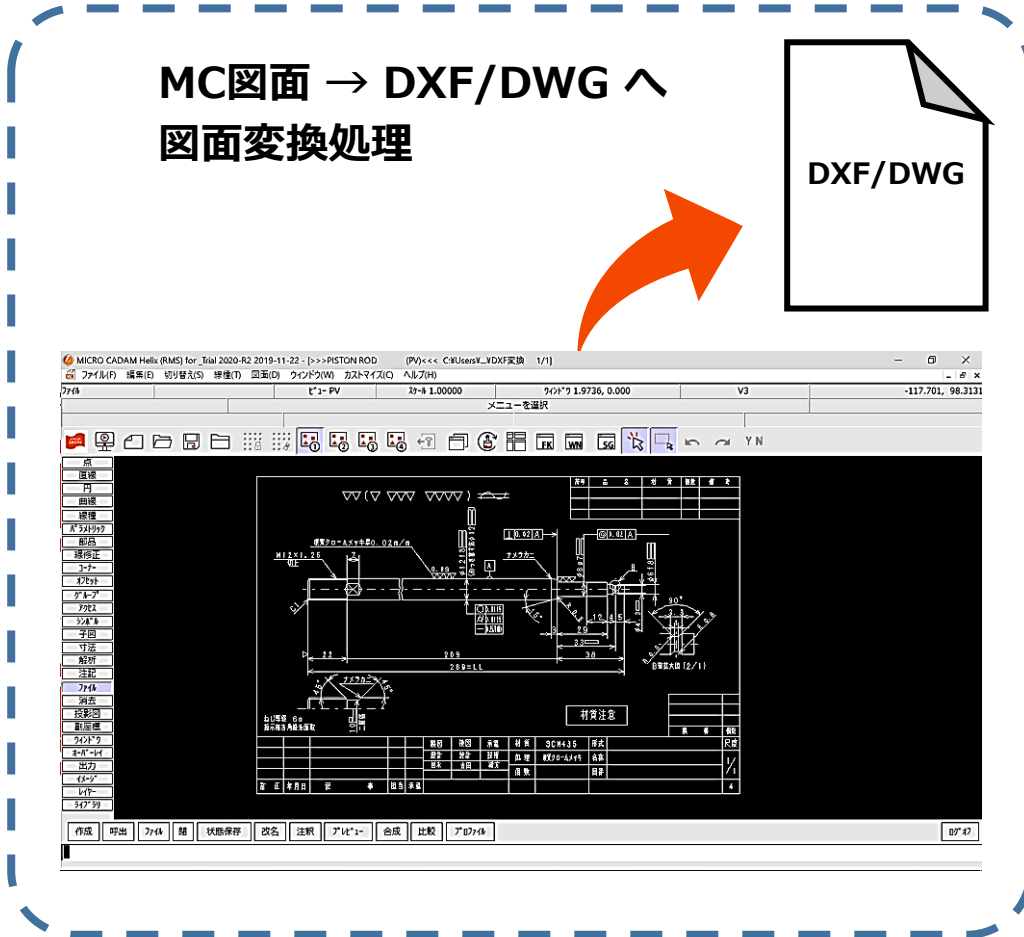
# DXF/DWG変換 操作説明

2020年6月版

MICRO CADAM Helix では、DXFおよびDWGフォーマットのファイルの取り込み、書き出しの双方向の変換が可能です。この項では、その変換操作の手順について紹介します。



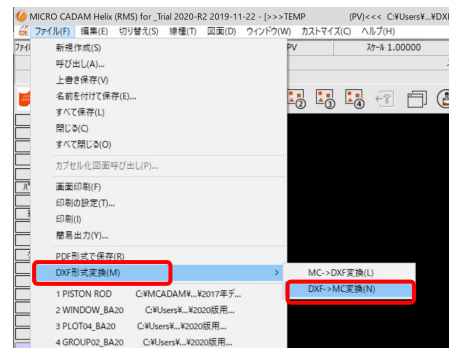
## 書き出し (エクスポート) : 有償オプション機能



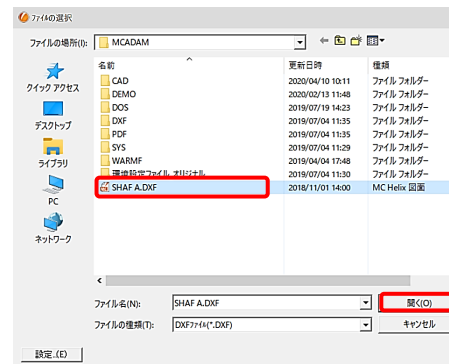
## MICRO CADAM Helix の対話型操作でDXFおよびDWGファイルを図面に変換します

1. 画面上部のメニュー・バー「ファイル」から「DXF形式変換」を選択 [図1]
2. 「DXF→MC変換」を選択  
ファイルの選択ダイアログが表示されます。 [図2]
3. DXFファイル「SHAF A.DXF」を選択
4. 「開く」  
変換結果がポップアップで表示されます。 [図3]
5. 「OK」

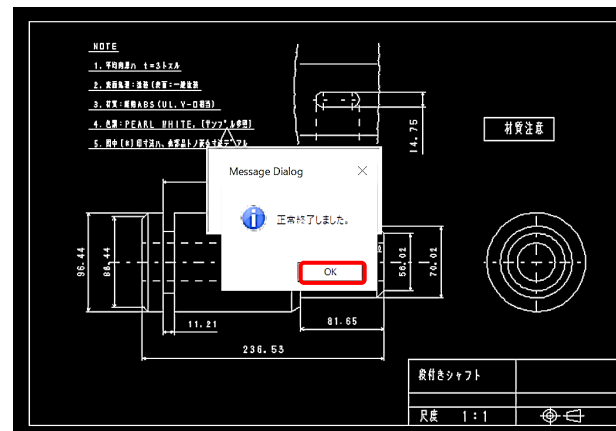
[図1]



[図2]



[図3]



ここでは何もパラメータの変更をせずに変換を行いました。が、ファイルの選択ダイアログの「設定」でDXF→MC変換ダイアログを表示し、「変換パラメータ」で変換時の細かな設定を行うことも可能です。

The image illustrates the workflow for converting DXF files to MC format. It shows the initial file selection, the main conversion dialog, and the detailed parameter settings dialog. The parameter settings dialog is divided into two parts: '変換先の仕様' (Conversion Target Specifications) and '変換先の仕様-2' (Conversion Target Specifications-2).

**変換パラメータ (Conversion Parameters) - 変換先の仕様 (Conversion Target Specifications):**

- 図面の単位系: DXFの単位系を引き継ぐ
- 図面の製図規格: DXFの製図規格を引き継ぐ
- 変換先書式: 画面 (PV) に変換
- 変換先の文字高さ: SH1 < (mm) : H1, SH2 < (mm) : H2, SH3 < (mm) : H3
- 変換先の文字幅数: 文字幅 文字高 (例: 1.000000 1.000000)
- 変換先の文字種: 文字種 文字高 (例: 1.000000 1.000000)
- 変換先の文字色: 文字色 文字高 (例: 1.000000 1.000000)

**変換パラメータ (Conversion Parameters) - 変換先の仕様-2 (Conversion Target Specifications-2):**

変換先書式	変換先書式	変換先書式	変換先書式
ACAD_ISO009W100	二点線(短)	ACAD_ISO02W100	破線(中)
ACAD_ISO11W100	二点線(短)	ACAD_ISO03W100	破線(中)
ACAD_ISO12W100	二点線(短)	ACAD_ISO07W100	破線(中)
ACAD_ISO13W100	二点線(短)	DASHED	破線(中)
ACAD_ISO14W100	二点線(短)	DASHED2	破線(中)
ACAD_ISO15W100	二点線(短)	DASHEDX2	破線(中)
BORDER	二点線(短)	DOT	破線(中)
BORDER2	二点線(短)	DOT2	破線(中)
BORDERX2	二点線(短)	DOTX2	破線(中)
DIVIDE	二点線(短)		
DIVIDE2	二点線(短)		
DIVIDEX2	二点線(短)		
PHANTOM	二点線(短)		
PHANTOM2	二点線(短)		
PHANTOMX2	二点線(短)		

## MICRO CADAM Helix の対話型操作で図面をDXFおよびDWGファイルに変換します

1. 図面「DXF01\_BA20」を開く [図4]
2. 画面上部のメニュー・バー「ファイル」から「DXF形式変換」を選択 [図5]
3. 「MC→DXF変換」を選択

ファイルの選択ダイアログが表示されます。 [図6]

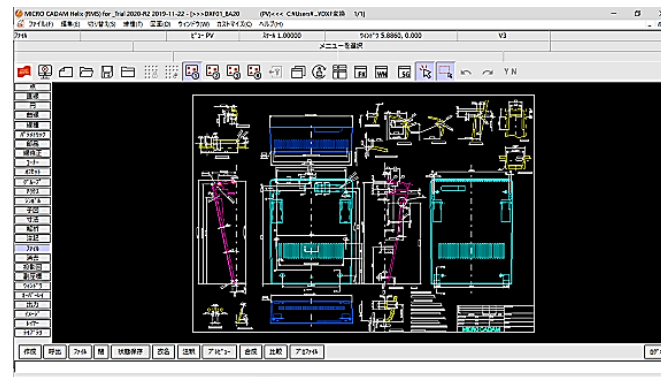
4. DXFファイルの格納先を選択

5. 「保存」

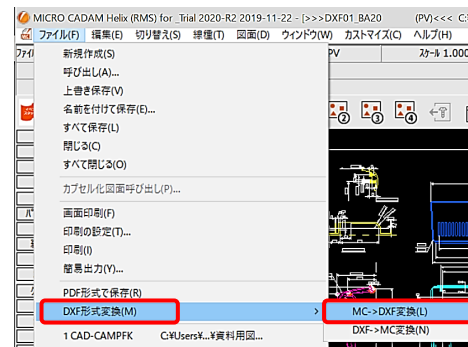
変換結果がポップアップで表示されます。 [図7]

6. 「OK」

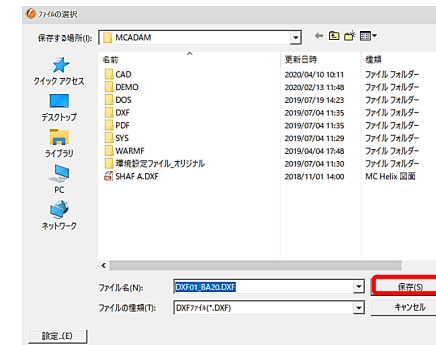
[図4]



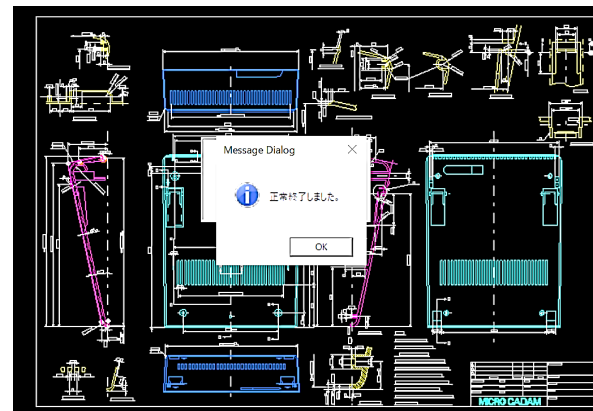
[図5]



[図6]



[図7]



DXF→MC変換と同様に、変換直前に「変換パラメータ」を細かに設定することができ、この微調整により精度の高い変換をすることが可能です。

The image displays a workflow for exporting a DXF file. It starts with a file selection dialog where 'DXF01\_BA20.DXF' is chosen. This leads to the 'MC->DXF変換' dialog, where 'MCDXF.SYS' is selected as the output format. The '変換パラメータ...' dialog is then opened to configure the export settings, including options for layer names, line types, and units. The final dialog shows further customization options for the output file's appearance and naming.

対話型操作でMC図面やDXF/DWGファイルを1枚ずつ変換する手順をご説明しましたが、MICRO CADAM Helix に付属するツールを使えば、一度に複数の図面やDXF/DWGファイルを変換することが可能です。

## Toolsがノードロックの場合： 統合データ管理の起動

パソコン画面の左下の「ウィンドウマーク」から

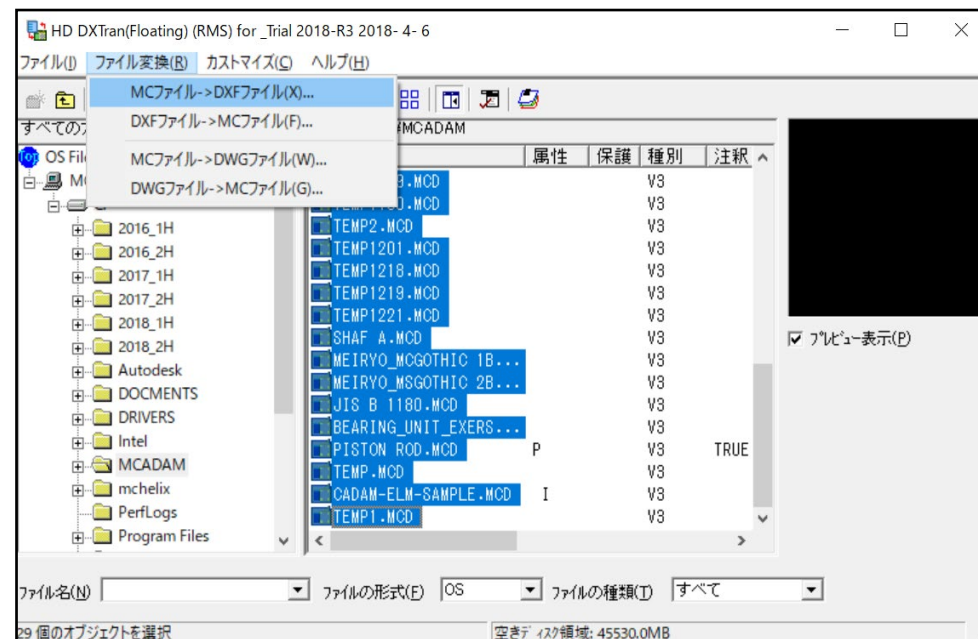
「MICRO CADAM Helix」 → 「統合データ管理」を起動します。

## Toolsがフローティングの場合： HD DXTran (Floating) の起動

パソコン画面の左下の「ウィンドウマーク」から

「MCHS運用ユーティリティ」 → 「HD DXTran (Floating)」を起動します。

いずれもエクスプローラのようなGUIでメニュー「ファイル変換」を使って一括での変換を可能にします。



[HD DXTranの利用画面]

## 参考2：変換時のパラメータ設定の重要性

**図面とDXF/DWGファイル間の変換は、設定を適正にすることで変換精度が大きく変わります。**

双方向の変換とも、変換の途中で、右図のような「変換パラメータ」の設定ボタンが表示されます。

ボタンを押すと様々な変換時の設定をするための画面が表示され、例えばMC→DXF形式変換時ならば、

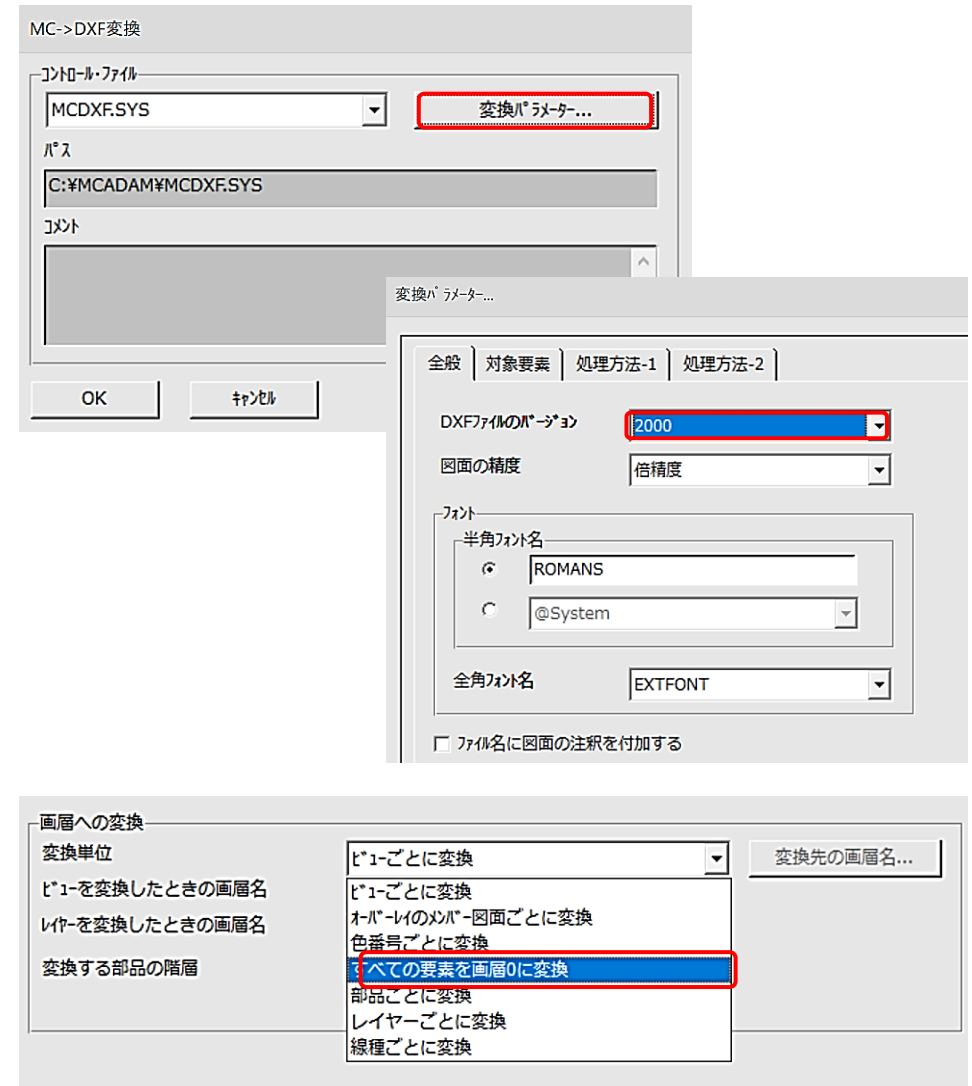
相手先のAutoCADのレベル

画層への変換時の細かな指定 etc

等のように細かな設定が可能です。

これらの設定は「MCDXF.SYS」という名前のファイルに保存されるので、そのファイルを直接編集しておけば変換の度にパラメータ設定をしなくてもいつでも適正な変換精度を維持できます。

これらの詳細については、マニュアルまたは実践操作解説書を参考になさってください。







※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。